

## 海外での取り組み

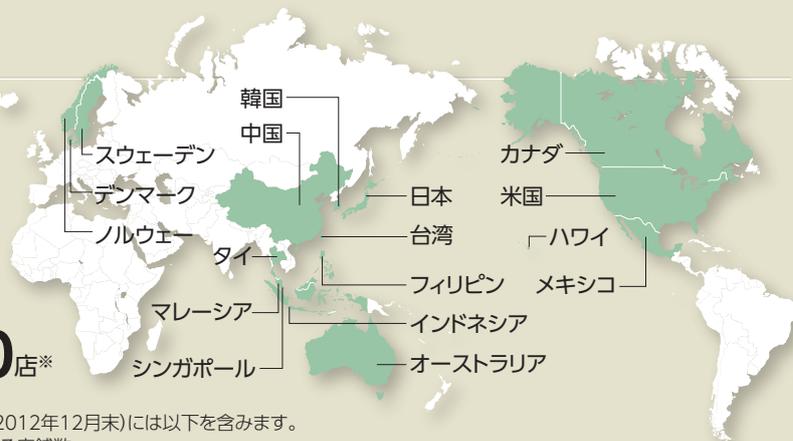
セブン&アイHLDGS.は  
世界16の国と地域で  
グローバルに事業を  
展開しています

世界での  
店舗ネットワーク

約 **51,600** 店\*

\* 店舗数(日本は2013年2月末、その他の国・地域は2012年12月末)には以下を含みます。

- 当社の子会社がそれぞれの国・地域で運営している店舗数
- 7-Eleven, Inc. のエリアライセンスが各国で運営している店舗数
- そごう・西武との契約のもと商標を使用し、運営している店舗数



## 海外事業会社の社会貢献活動

### 7-Eleven, Inc. 8,118店舗

青少年の育成、軍人への支援、地域の安全をテーマにした社会貢献活動に取り組んでいます。

犯罪が増える夏に、子どもたちに良い行いをうながし、そのごほうびとなるよう、店舗がある地域の警察署に炭酸飲料「スラーピー」の無料クーポン券を配布しています。1995年から毎年約100万枚を提供しており、2012年は米国の600都市で子どもたちに配布されました。累計配布数は約1,100万枚にのぼり、「警察に対する印象の改善や地域の安全に役立っている」と警察官から評価を得ています。



### セブン-イレブン北京 200店舗

店舗に募金箱を設置してお客様から寄付をつのり、政府公認の環境保護団体「北京緑化基金会」に寄付しています。2012年度は164,884元が集まりました。

### SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC. 59店舗

良き企業市民として、子ども・教育・福祉・健康に関する活動や団体を支援しています。2012年度は、ハワイ市民のために殉職した警察官などをたたえるモニュメントの設計・製造および維持を目的とするNPO「ハワイ・ロウ・エンフォースメント記念財団」を支援。同NPOが市民から寄付をつのりするために開催したイベント「ライド・フォー・ザ・フォールン」のスポンサーを務めました。



### 華糖ヨーカ堂、成都イトーヨーカ堂

合計13店舗

2012年度、華糖ヨーカ堂は、教育支援や被災地支援などを中心に533,628元の寄付を行いました。成都イトーヨーカ堂は、教育支援を中心に401,165元の寄付を行いました。

## TOPICS

### 海外の7-Eleven運営企業の取り組み

\* 各国の7-Elevenはそのエリアライセンス権を持つ企業が運営しています。

韓国で6,986店舗を運営するKorea Seven Co., Ltd. [Lotte Group]は、2012年1月から、大学生への学費支援として、一人につき最大1,000万ウォンを無利子融資したり、奨学金制度や雇用制度を提供しています。

タイで6,822店舗を運営するCP ALL Public Company Ltd.では、2011年にタイで起きた大洪水をうけ、2012年度には従業員自身が社会貢献活動を主導するボランティアクラブが誕生しました。

## 7-Eleven, Inc.

### 基本的な考え方

地域の皆様から支持され、親しまれる店舗であるために、高品質の商品・サービスを提供することに加え、良き企業市民としての責任を果たすことは不可欠です。7-Eleven, Inc.はさまざまな環境・社会活動を続けています。



### 環境負荷の低減

7-Eleven, Inc.は、資源の消費、廃棄物やCO<sub>2</sub>の排出など、事業にともなう環境負荷の低減に取り組んでいます。2012年度は、さまざまな取り組みによって246,000トンのCO<sub>2</sub>排出量削減効果と、4,000万ドルのコスト削減効果をあげました。

### 省エネルギーの推進

LED照明や省エネ型の空調設備や冷蔵機器、環境管理システムを備えた省エネ型の新店を増やしています。

2012年度は、省エネ手法の開発とその模範事例を入手するため「エネルギースター」パートナーになりました。「エネルギースター」とは、EPA(アメリカ合州国環境保護庁)のプログラムの一環である任意組織です。事業者と消費者に対して、次世代の環境を守ることを目的に、温室効果ガスの削減に寄与するエネルギー効率向上策や省エネ策を提供しています。



### 国際会議で評価されたLED照明の設置

米国とカナダで4,500店舗にLED照明を設置したことが「エネルギー技術者協会」から評価され、7-Eleven, Inc.は2011年に続き、コロラド州やテキサス州など13の州が属する地域Ⅳのグループで「2012年企業エネルギー管理大賞」を受賞しました。同時に、Ⅳのグループ内で「2012年プロジェクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。授賞式は、米国内外でエネルギーに関する最も重要なイベントと広く認知されている「第35回世界エネルギーエンジニアリング総会」の場で行われました。

#### 社員の声

LED照明を新店の標準設備に設定するこれほど大規模な省エネ策は、他の小売チェーンにはない取り組みです。今後もLED照明の導入を進めていきます。



エンジニアリング&  
エネルギー管理責任者  
James Chemp

### 店舗での節水策

水使用量を減らすため、2012年に新たな節水型の蛇口を新店全てに導入しました。また、この蛇口を新店の標準設備仕様に加えました。



## 商品配送における工夫

2012年度は、店舗数が大幅に増加したことで商品の配送距離が伸びました。しかし一方で、配送ルート最適化と共同配送を進めたことで、1店舗当たりの配送にかかわる環境負荷を削減。結果として、2,500トンのCO<sub>2</sub>排出量削減効果がありました。

## 包装における環境配慮

容器包装について、7-Eleven, Inc.は商品の品質保持や利便性を確保しつつ環境負荷をできる限り抑制するために、使用量の削減と環境に配慮した素材の採用に努めています。

例えば店舗のレジ袋には、少ないエネルギーで製造されたリサイクル素材で、使用後も繰り返しリサイクルや再利用のできるものを使用しています。また、ほぼ全てのプライベートブランド商品の容器にも、リサイクル素材で、使用後のリサイクル性に優れた素材を採用しています。これら取り組みのいずれにおいても、容器包装は最小限を原則としています。

いっそうの取り組み推進に向けて、2012年度は容器包装のエンジニアを新たに採用しました。今後も使用量とコストのさらなる削減を図っていきます。

アメリカとカナダの店舗数と店舗運営にともなう環境関連データ

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度目標
店舗数	6,610	7,149	8,118	8,533
電気使用量 (GWh)	1,720 <sup>※1</sup>	1,771	1,854	2,123
CO <sub>2</sub> 排出量 (千t-CO <sub>2</sub> ) <sup>※2</sup>	1,117	1,138	1,203	1,319
水使用量 (千m <sup>3</sup> )	6,728	5,955	6,707	7,322
レジ袋使用量 (t)	—	1,496	1,390	1,659

※1 推計値を含みます。

※2 USEPA (アメリカ合衆国環境保護庁)の基準にそった排出係数で算出。

## EV(電気自動車)の充電ステーションの設置

店舗を展開している地域で、持続可能な社会づくりに貢献し、EVに関連する業界の発展を支援するため、2012年度カリフォルニア、イリノイ、ニューヨーク、テキサスの4つの州の実験店舗で、駐車場にEV車用の充電器を設置しました。最先端の機器で、30分以内での急速充電が可能です。

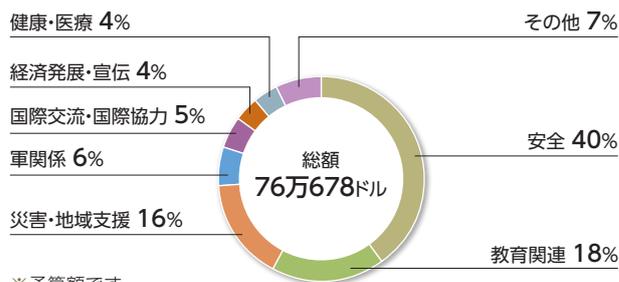


## 地域社会との共生(米国)

7-Eleven, Inc.は、出店地域における生活の質向上に貢献することをめざして、本部と加盟店が一体となった社会貢献活動を推進しています。活動の中心となる分野は、青少年の育成、軍人への支援、地域の安全です。

2012年度は、お客様・加盟店・従業員および自社からの募金、物品提供、ボランティア活動などを通じ、金額換算で約330万ドル以上の支援を、700を超える団体に対して実施しました。

7-Eleven, Inc.による米国内での現金寄付額<sup>※</sup>(2012年度)



## 地域の安全

地域と青少年の安全は最優先事項です。店舗の安全性を高め、犯罪抑止をより強化するために、7-Eleven, Inc.は4,000万ドルをかけて米国の全店舗に防犯カメラとデジタルレコーダーを設置しています。店舗はもとより離れた場所にある本部、警察で監視カメラの映像を見られることから、防犯とともに、警察官にとっても職務効率の向上につながります。

また、年齢制限のある商品については法令に則って販売しています。違法販売防止のために、制限がある商品をレジでスキャンすると、会計時にお客様の身分証明書を確認するよう従業員に指示するレジ画面が表示されます。2012年度は、新たに免許証をスキャンして年齢を認識し、年齢制限がある商品が販売可能かを判断するようにしました。あわせて、本部従業員・加盟店・販売員に販売者責任の重要性を再認識させるため、啓発ウィークを設定しました。

さらに2012年度は、犯罪多発地域であるダラスの防犯支援として、ダラス警察署にT3シリーズのEV4台を寄付しました。T3は一人乗りの三輪型EVで、視界がよく、狭い道も通って現場に急行できることから、都市部に最適な移動手段です。短時間の充電で長距離走行が可能、排気ガスを出さないという特長も有しています。このほか、「セイファー・ダラス・ベター・ダラス」に30万ドルを寄付しました。寄付金はT3や防犯カメラ、おとり車、固定・可動式のナンバープレート読み取り装置を購入するために活かされます。



寄贈したT3と7-Eleven, Inc.資産保全部部長Mark Stinde (左)、ダラス警察署長(右)

## 青少年の育成

米国農務省によると、米国国内では十分な栄養をとれていない18歳未満の子どもが1,670万人にのぼります。栄養は身体と心の発育、学力、将来の職業に重要です。

7-Eleven, Inc.は9月の飢餓月間にあわせ、「フィーディング・アメリカ」とその団体が支援する3,700万人のために、認知活動と店頭募金を実施しました。集まった約18万ドルは地域のフードバンク団体に送られ、140万食を超える食料として活用されます。



キャンペーンのポスター

### 社員の声

「フィーディング・アメリカ」は最も支援を必要としている人に地域のフードバンクが食料を届けるのを効率的・効果的に支援している団体です。青少年の育成は7-Eleven, Inc.の社会貢献活動の分野の一つであり、子どもの飢餓撲滅への取り組みに力を入れている当社には最適なパートナーです。



7-Eleven, Inc.  
コミュニティー・リレーションズ  
マネジャー  
Nancy Lear

## 軍人への支援

米軍関係者への支援として、力を入れて取り組んでいるのが、傷や障害を負った方にとっては特に難しい社会復帰の支援です。

2012年は退役軍人の失業問題への認知向上と、無料でのキャリア転換サービス提供に取り組んでいる「ハイアー・ヒーロー・USA」を支援するために、売上が寄付につながる商品をお取引先と共同で販売しました。この商品販売による寄付と、加盟店が毎年開催

しているチャリティーゴルフによる寄付、前年度の寄付とを合わせた額は60万ドルを超えました。

また、軍人とその家族を支援しているNPO「オペレーション・ホームフロント」を支援するため、2012年9月の1カ月間、サンディエゴ地域の店舗で「スラッピー（炭酸飲料）」のカップサイズごとに、その販売数に応じて寄付金額が決まるキャンペーンを実施しました。寄付金額は目標とした25,000ドルに達し、65世帯への食料や生活用品の提供に役立てられました。

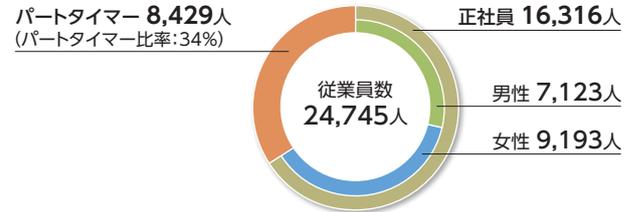
## 健康食品の拡大

お客様の健康志向や増加する肥満への不安に対応するため、健康に配慮した食品・飲料を品揃えしています。2012年度は、低カロリー食品と1人用サイズの品目数増加に取り組みました。



## 従業員関連データ

アメリカとカナダの従業員関連データ(2012年12月末現在)



- 障がい者雇用率 ..... 1.8%
- 役員を除く女性管理職比率 ... 23%

# SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC.

## 環境負荷の低減

電気使用量を削減するため、2012年度に「エネルギー・スマート・プログラム」を開始しました。

日本でセブン-イレブン・ジャパンの省エネの取り組みを学び、店舗設備で最も電気使用量の多い空調には基準温度を設定したり、冷蔵・冷凍設備にLED照明とインバーターを設置したりしました。

また、節電意識を高めるため、環境教育に加えて、全従業員から意見を募って「省エネ10カ条」をまとめ、全店舗で実践を開始しました。こうしたハード・ソフト両面の取り組みを全部門で進めたことで、2012年度は、前年度比で電気使用量が96%、費用は88%となりました。ハワイ州の電気料金は米国内で最も高いこ

とから、コスト削減効果もあがっています。

電気使用量のさらなる削減に向けて、2013年度は地元のコンサルティング会社やセブン-イレブン・ジャパンと連携しながら、新店や既存店の改装時に省エネを推し進めていきます。



SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC.の店舗数と店舗運営にともなう環境関連データ

	2010年度	2011年度	2012年度
店舗数	55	58	59
電気使用量 (MWh)	18,598	18,468	18,079

# セブン-イレブン北京

## 人材の育成・活躍支援

### 能力向上支援

店舗展開を進める上で、セブン-イレブン北京は中国人従業員の育成・登用に力を注いでいます。

人材育成策として、入社から店長、OFC (店舗経営相談員) へ至る昇級・昇格を促すための育成計画と研修体制を整えています。そのなかで、能力と意欲のある人材については、「快速トレーニング」という独自トレーニングを通じて、通常の半分にあたる約1年でOFCへの昇格を進めています。

2012年度は、教育や福利厚生の上昇などを目的に労働組合を設立しました。人事部と労働組合が連携し、組合費を活用してさまざまな社内研修を開始しています。2013年度は商品部・リクルート部・トレーニング部・財務会計などの幹部社員を対象に、セブン-イレブン・ジャパンの研修を約1カ月受講させる計画です。

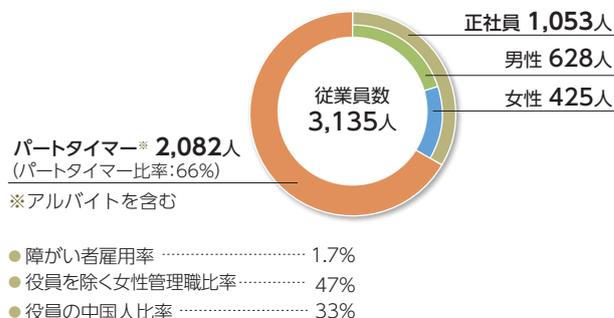
### 女性の活躍推進

中国では、出産や育児に関する休暇を男女に手厚く与えるよう労働契約法で定められています。こうした法制度と実力本位の管理職登用が相まって、セブン-イレブン北京では現地部長職の19人中9人が女性です(2012年12月末現在)。

女性にとっての働きやすさを高めるために、女性従業員を対象に、仕事と家庭の両立をテーマにしたセミナーなどを開催しています。



セブン-イレブン北京の従業員関連データ(2012年12月末現在)



### 社員の声

セブン-イレブン・北京では、店舗運営の経験を積み、高いコミュニケーション能力を持って加盟店オーナーさんとスムーズに交流できる人材、なおかつ店舗をより良くするという視点から仕事を考えられる人材の育成を目指しています。

2013年4月に設置した人事本部従業員関係部では、施策のひとつとして職場環境の改善とトレーニングの実施を計画しています。会社が急速に成長するなか、従業員に過度な負荷を与えないよう、良好なコミュニケーションがとれる職場づくりをテーマに管理者と従業員を育成していきます。2013年下期からは、人事本部が各部門の管理者に必要な講座を推薦して、受講してもらう予定です。



人事部  
副総経理 人事本部長  
栾 静(Luan Jing)

## 安全・安心な商品づくり

安全かつ環境に配慮した商品を提供するために、セブン&アイグループのプライベートブランド「セブンプレミアム」の中国向け商品の開発を進めています。原材料の厳しい選定に加えて、セブン-イレブン北京が独自に製造工場を審査して品質レベルの高い工場を指定しています。

セブン-イレブンのオリジナル商品に関しては、わらべや日洋(株)と合同出資した旺洋工場が2011年2月に完成。北京市技術監督局からデイリー商品の生産販売許可(QS認証)を受け、2012年5月にサンドイッチ、10月にお弁当の販売を開始しました。QS認証は、日本よりも厳しい生菌数※を求められるなど、中国でトップレベルの厳格な基準です。中国国内の既存工場では満たすことが難しかった基準をクリアした食の安全・安心を守るモデル工場として、開業式には北京の副市长も出席されました。

オリジナルでない一般商品では、無添加で保存料を使用していない高品質な果汁飲料などの取り扱いを増やしています。

※ 食品に含まれる好気性中性細菌の数のこと。食品の鮮度の尺度として用いられます。



## 環境負荷の低減

中国では、伸び続ける電力需要によって供給不足が生じ、電気料金が高騰しています。企業では、環境負荷低減に加えてコスト抑制のためにも節電が不可欠となっています。

セブン-イレブン北京では2012年度、前年度に引き続き、店舗改装時に照明器具を省エネ型に切り替え、かつ設置本数を削減しました。また、一部店舗で空調機をインバーター式に交換しました。ほかにも、LED

照明の利用促進に向けて、1店舗で店内照明にLEDを使用し、2店舗で看板での使用実験を行いました。

2013年度は、チルドケースや飲料商品用冷蔵設備を運転する冷凍機に、空調設備と同様にインバーター式冷凍機の導入を開始していきます。また、店頭看板の消し忘れによる無駄を防ぐため、タイマーと光センサーで自動的に点灯・消灯する機器を導入します。さらにフロンの漏洩防止策として、従来実施している業者による定期点検に加えて、冷凍冷蔵設備の冷媒ガスをフロンから代替していく計画です。

### セブン-イレブン北京の店舗数と環境関連データ

	2010年度	2011年度	2012年度
店舗数	100	147	200
電気使用量(MWh)	11,851	13,216	20,675 <sup>※1</sup>
水使用量(千m <sup>3</sup> )	54	55	82 <sup>※2</sup>

※1 政府によりガスの使用が規制されたことを受け、店内の厨房をガスから電気に変更しました。それにともない、2012年度は電気使用量が増えました。

※2 データの収集方法を変更しました。

## 店頭募金

2006年11月から店舗に募金箱を設置してお客様から寄付を募り、政府公認の環境保護団体「北京緑化基金会」に寄付しています。同基金会は、砂塵被害や砂漠化への対策として、市民の寄付金をもとに木を植え、北京および周辺地域に防砂林をつくる活動をしています。セブン-イレブン北京は、お客様からの募金を寄付するほか、2011年9月に同基金会の防砂林の構築記念式典に参加。これまでの活動が評価され、2011年7月と2012年3月の2度にわたり、同基金会から表彰されました。

### 募金額の推移

2010年度	80,931円
2011年度	148,586円
2012年度	164,884円



## 華糖ヨーカ堂、成都イトーヨーカ堂

### 現地化の推進と従業員の能力向上支援

1996年12月に四川省成都市に成都イトーヨーカ堂有限会社を設立、1997年9月に北京市に華糖ヨーカ堂有限会社を設立し、2013年2月末現在で13店舗を展開しています。「現地化」を基本方針として、現地のニーズにあった品揃えとサービス、現地からの商品仕入れ、現地スタッフによる店舗運営を推進しています。

現在、華糖ヨーカ堂、成都イトーヨーカ堂ともに中国人主体の店舗運営体制を整備しています。成都イトーヨーカ堂では、店長・副店長のポスト全てに中国人従業員を登用、華糖ヨーカ堂でも日本人店長1名を除き、中国人の店長・副店長が活躍しています。さらに、マネジャー以上の管理職全体に占める中国人の割合も98%（華糖ヨーカ堂）、91%（成都イトーヨーカ堂）となっています。

現地従業員の登用を進めると同時に、従業員の能力向上を積極的に支援しています。例えば四半期ごとに

成果発表会を開催し、接客や販売促進、コスト削減、環境改善、テナントの数値改善などに関して、個人または部単位で事例を報告し、優れた事例を表彰しています。その他にも、会社への貢献度が高く模範となる従業員を表彰する「優秀社員表彰制度」（華糖ヨーカ堂）や販売コンクール、技術コンクール、業務改善提案の募集など、従業員のやる気を引き出す制度を取り入れています。



成果発表会

### 安全・安心な商品づくり

#### ISO9001の取得

成都イトーヨーカ堂は、仕事の流れをより明確にし、標準化することで品質管理の徹底を図るために、2007年から全店でISO9001を取得しています。

#### 社員の声

##### 優秀社員表彰制度 伊藤名誉奨受賞

レジを10年間担当しています。今回の受賞は皆様のおかげだと感謝しています。

レジの仕事は大変ですが、楽しみも多いです。先日、常連のお客様から「祭日も出勤しているの、本当にお疲れ様」と言っただき、とてもありがたく感じました。お客様と家族のようにお話しできることが嬉しく、お客様からいただく励ましが私の原動力となっています。最高の接客サービスを提供することで、お客様へ感謝を伝えたいと考えています。



華糖ヨーカ堂  
垂蓮村店  
レジ科 組長  
卒 艶紅 (Bi Yan Hong)

##### 成果発表会2013年度第一四半期優勝

プライベートブランド商品「pbi」の開発と売上拡大が評価されて、今回の受賞が決まりました。成果発表会への参加は初めてのことで、優勝できたことはとても嬉しく、また、会社に認めていただけたことに感謝しています。新人パイヤーとして、まだまだ足りない点がありますが、開発チームの皆と一緒にお客様からご支持をいただける商品を開発し、衣料品全体に占める「pbi」商品の売上高比率10%を目標に、積極的に挑戦していきたいと思います。



成都イトーヨーカ堂  
衣料商品部  
pbiパイヤー  
唐 莹莹 (Tang Ying Ying)

## 中国版の「顔が見える食品。」の販売

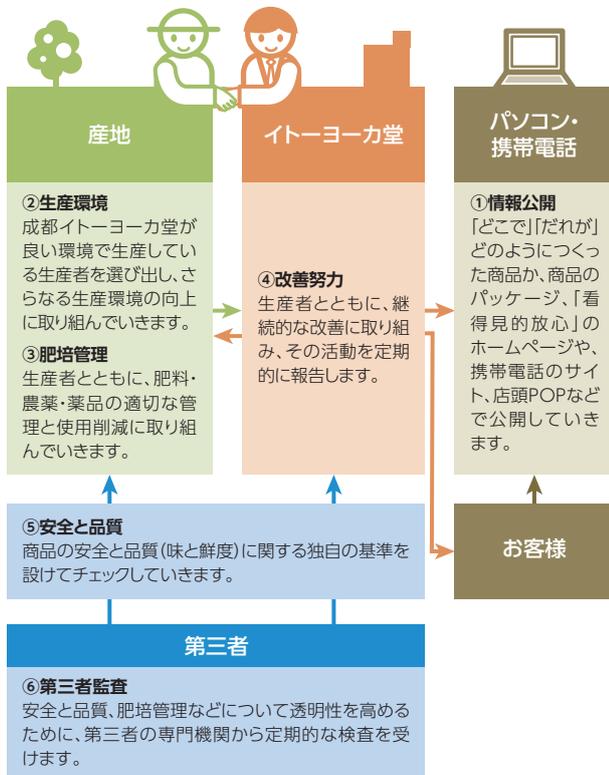
中国国内で高まる食に対する不安の解消に向けて、成都イトーヨーカ堂では2013年3月から、日本で取り扱っている「顔が見える食品。」(→p20)の中国版の販売を開始しました。専用のウェブサイトの商品についてIDコードを入力いただくか、携帯電話で二次元バーコードを読み取ると、「どのような生産者が」「どこで」「どのように育てた商品なのか」を確認いただけます。現在、野菜27アイテム、果物1アイテムを販売しており、今後、豚肉や鮮魚・米などにも拡大していく予定です。

華糖ヨーカ堂でも、売場に設置した検索端末で生産地の情報を検索できる商品16アイテムを取り扱っています。



成都イトーヨーカ堂の「顔が見える食品。」

### 「顔が見える食品。」の仕組み



## 地域社会への貢献

地域社会の一員として、寄付や従業員によるボランティア活動などを行っています。

華糖ヨーカ堂は2008年に北京慈善協会と連携して教育支援のための「華堂愛心助学専用慈善基金」を創設。2012年度は246,800円を寄付し、パソコンなど学校設備の充実に活用されました。成都イトーヨーカ堂は教育支援のために285,500円の寄付を行ったほか、従業員による毎月の店舗周辺の清掃や、祝祭日に独居老人の慰問などのボランティア活動を行っています。



ボランティア活動に参加した従業員

## 環境負荷の低減

華糖ヨーカ堂、成都イトーヨーカ堂は、省エネ型の照明やLED照明の導入など各種施策を講じ、中国で重要な課題となっている節電に努めています。

2012年度の電気使用量は、華糖ヨーカ堂ではテナントへLED照明の導入を進めたほか、大興店が一時休業したため前年度比98%となりました。成都イトーヨーカ堂では高新店の開店(2011年11月)の影響で前年度比137%と増加しました。

### 華糖ヨーカ堂の店舗数と環境関連データ

	2010年度	2011年度	2012年度
店舗数	8	8	8
電気使用量(MWh)	61,318	55,847	54,609
水使用量(千m <sup>3</sup> )	407	413	360

### 成都イトーヨーカ堂の店舗数と環境関連データ

	2010年度	2011年度	2012年度
店舗数	4	5	5
電気使用量(MWh)	59,666	61,378	84,226
水使用量(千m <sup>3</sup> )	550	571	674